

自分を信じ 強い信念持ち 活動していた

今回の海外研修の企画を見てまず初めに、「オーストリアとスイスという2国に旅行ができるなんて凄い」と単純にそう思った。だから応募した。福井の将来を真剣に考えたいとか、国際機関で働きたいとか、そんな熱実な動機から見れば少し軽率だったかもしれないが、私にとってこの研修への参加を強く促すには必要十分条件であった。しかし最終的には、沢山の経験を通して考え方も変わったし、とても成長で

きたと思う。

実際にオーストリアに行ってみると、なるほど大変な歴史を感じる国だった。どのビルも石造りで、日本の国会議事堂のような建物が当然のように並んでいた。そんな中でも際立っていると感じたのが、国際原子力機関（IAEA）の本部だった。厳重な手荷物検査やそれを凝視している武装した警備員などがその重要性を強調させた。私はこんな場所で働く

日本人とはよほど殊勝だろうと感じ、話を聞くのがとても楽しみになった。そして、日本人の職員の方から各々の仕事の内容やなぜその職に就くに至ったかなど貴重な話を聞くことができた。やはり凄い人々だと感じたが、私と一番違っているのは「気持ちの持ち方」だと感じた。ウィーンではハプスブルグ家の宮殿や美術品、ウィーンフィルハーモニー管弦楽団の鑑賞など素晴らしい経験



Reporter

北陸高校 2年

きよかわ たくま

清川 拓真

国際機関で働く日本人に 学ぶ視察研修会



WIPOにて

8月初旬に県内の高校生を対象に、IAEA（国際原子力機関）、WHO（世界保健機関）、WIPO（世界知的所有権機関）で働く日本人を訪問し、各機関の役割と日本人の活躍について学びました。

ができた。スイスのWHO（世界保健機関）、WIPO（世界知的所有権機関）でも日々の活動、国際機関の課題、英語の重要性など様々な話を聞いたが、やはりそうだと確信した。みんな自分を信じ、強い信念を持ち活動している。国際機関には様々な国や言語を持った人が働いているが、その中で活躍するには相手をよく理解することが重要だと聞いた。WIPOでは英語は完璧に訳すことではなく何を伝えたいかが重要だと教わった。自分が何をしたいか、何ができるかをはつきりさせることで、彼らは海外でも活躍している。そこに深い感銘を受けた。私も強い気持ちをもって何事にも挑戦したい。

エネルギー とこと

現在、再生可能エネルギーについては太陽光に偏った形での導入となっています。風力、地熱、バイオマス等についても研究開発を進め、コスト削減を図ることにより、バランスのとれた導入拡大を進める必要があります。

福井県経済団体連合会 会長 川田 建男

福井県環境・エネルギー懇話会

〒918-8004 福井市西木田 2-8-1

福井商工会議所ビル 6F

▶バックナンバーはコチラから

福井県環境・エネルギー懇話会 [検索](#)

次回は9月27日(火)掲載予定

視察研修会に参加した高校生が学んだこと・体験したことをシリーズで紹介していきます。